



戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。

芦屋ユネスコ協会 70 年のあゆみ

《エピソード II》

芦屋ユネスコ開館の誕生と終焉



昭和40年ころのユネスコ会館

国際連合教育科学文化機関(ユネスコ)憲章は、第二次世界大戦後の昭和20年(1945年)にロンドンで採択され、翌年に発効、ユネスコが創設されました。日本は昭和26年(1951年)に加盟しました。当時、日本はまだ国際連合(国連)には加盟しておらず(日本の国連加盟は昭和31年)、ユネスコはわが国の国際社会復帰の最初の間となりました。

なお、日本の民間ユネスコ活動はユネスコ加盟前の昭和22年(1947年)から行われており、現在も世界の民間ユネスコ活動の推進力となっています。また、世界初の民間ユネスコ協会が発足したのもわが国であるとされています。

芦屋ユネスコ協会の活発な活動を耳にした駐日大使ライ

シャワー氏は、デンバーで開催された全米ユネスコ大会に日本ユネスコ協会代表として廣瀬勝代会長と現名誉会長の廣瀬忠子氏(当時は秘書)を招待しました。

これを機会に、コロラドユネスコ協会会長エリザベス・H・ローズ婦人と知り合い、コロラドユネスコ協会との書簡の往復、絵画の交換など活発な交流が行われ、会長同士の個人的な交友関係も深くなっていきました。

このローズ婦人が5万ドル(1800万円)もの大金をご寄贈くださり、これを契機に兵庫県ユネスコ会館建設委員会ができ、当時の金井兵庫県知事が代表となり、県下婦人会会員50万名や近隣のユネスコ協会からも100円募金を通して多くの支援を受け、さらに芦有開発㈱の金井社長のご厚意により奥池に1,000坪の土地を提供いただき、昭和39年(1964年)東京オリンピックのときに、芦屋ユネスコ会館がオープンしたのです。この会館にはホール・会議室・宿泊設備もあり、特にこの時代に宿泊設備が少ないこともあって、秩父宮妃殿下・高松宮妃殿下はじめ外国の要人も多く迎えるといった輝かしい歴史を築きました。このユネスコ会館の運営は、芦屋婦人会と日赤奉仕団並びに芦屋ユネスコ協会が常に表裏一体となり25年間、宿泊客の三度の食事、ベッドメイキング、洗濯など、ボランティアという言葉がまだ使われていない頃に本当のボランティア活動が続けてきたと同時にその精神を教えられたのです。

昭和59年(1984年)、廣瀬勝代氏の逝去に伴いこの会館は芦屋から県の婦人会の手に委ねられ運営されたのですが、徐々に経営が困難となり売却せざるを得ない事態となりました。売却後には火災により全焼、そして現在では県の管理下のもとユネスコ会館基金として信託されています。



昭和40年-第21回全国大会<芦屋>

2017年度 芦屋ユネスコ協会 創立 70 周年記念「総会」開催



創立 70 周年となる 2017 年度芦屋ユネスコ協会の総会は、6 月 16 日（金）17 時 30 分から市民センター 301 室において、来賓に山中市長、また田原・中島・福井・岩岡市議等を迎え、約 50 名の会員の参加を得て盛大に開催されました。

開会にあたり、山田会長から「今年は、民間ユネスコ運動が始まって 70 周年、芦屋ユネスコ協会も創立 70 周年を迎える記念すべき年です。これからは芦屋ユネスコ協会が取り組ん

でいる“世界平和と人類の福祉を願っての活動”を全市民でしっかりと守り続けていきたいと思います。今後とも、変わらぬご支援・ご協力をお願いします」と要望されました。

山中市長から来賓祝辞をいただいた後、昨年度の「書き損じはがき」回収や出前授業に協力いただいた市内学校 4 校＜芦屋学園中学校・高等学校／甲南高等学校・中学校／芦屋市立山手小学校／芦屋市立朝日ヶ丘小学校＞の代表とご寄付をいただいた喜多邦子様・藤井祐子様のお二人に、山田会長から感謝状を贈呈しました。

その後「ユネスコ会員綱領」を出席者全員で唱和し、塩井副会長を議長に選出し、議事に入りました。

議案書に従い、2016 年度の事業報告、決算報告・監査報告に引き続き、2017 年度事業計画案・予算案が審議され、全議案が満場一致で承認され、2017 年度総会は無事終了しました。



総会に続いて行われた「ユネスコ 70 周年記念講演」は、芦屋市長・山中 健様に「芦屋のロマンと夢」と題し、ご講演をいただきました。

ここ数年、芦屋出身の世界的なアスリートが次々と活躍していること。また横綱になった稀勢の里関が市立芦屋病院で生まれたこと。また現在、市内道路の無電柱化を目指していること。ＪＲ芦屋駅南地区の整備事業にも取り組み、市街地再開発事業の許可に向けて進めていることや、芦屋の給食が全国から評価され注目されていることなど、明るいまちの将来像が想像できるお話をたくさんお聞きすることができました。



記念講演の後、会場を多目的ホールに移し、70 周年記念「会員交流懇親会」が盛大に開催されました。この会にひときわ花を添えてくださったのは、オープニングでのフルート演奏でした。金澤佳代子さん（ピアニスト）の伴奏で中野幸代さん・奥野由紀子さんのフルート演奏でした。クラシックほか日本の四季の歌や「ふるさと」などの演奏に、声楽家の加藤純子さんや手話歌指導の浅田太枝子さんも加わってくださり、華やかさの中で、会場は6月の蒸し暑さも忘れ、しばし

うっとり。

議会でご多忙な中、駆けつけてくださった芦屋市教育委員会・福岡教育長に開会のご挨拶と乾杯のご発声をいただき、恒例の「会員交流懇親会」がスタート。

ご馳走に舌鼓をうちながら、親しく勧談・交流しました。

(文責・写真：南ゆう子)



民間ユネスコ運動70周年記念 「日本ユネスコ運動全国大会 in 仙台」 参加報告

“発祥の地 仙台から世界へユネスコ憲章の理念を世界に！”

2017年7月15日(土)・16日(日)、第73回全国大会が仙台国際センターで開催されました。

世界初の民間ユネスコ運動が誕生し、本年で70周年を迎えます。現在では世界各地に広がり、70カ国3,500のユネスコ協会やクラブへと引き継がれ、世界各地で活動されています。今回の参加者は約1,000名(中国ユネスコ協会クラブセンター連盟・韓国ユネスコ協会連盟から100名)の参加者、芦屋ユネスコ協会からは9名が参加しました。

第1日目は、NHK仙台的少年少女合唱隊のオープニングで始まり、開会式には日本ユネスコ協会連盟会長挨拶、国連UNESCO事務局長イリナ・ボコバさん、文部科学大臣松野博一氏の祝辞の代読、宮城県知事・ご来賓の紹介がありました。

特別講演には、ノーベル平和賞受賞者のラジェンドラ・クマール・パチャウリ氏から「気候変動に挑戦する知と勇気を持つ若者を育てよう」と題するお話があり、30～50年後の地球温暖化に対して私たちに何ができるかと考えさせられました。

パネルディスカッションでは、「高校2年生が届けるメッセージ」と題し、3校の発表がありました。

会場をホテルメトロポリタン仙台に移した「懇親会」では、日ユ協連の幹部のかたがたや他ユネスコ協会との情報交換ができ、芦屋のアピールもできて有意義な時間を持つことができました。韓国のグループが隣席で、賑やかに交流もできました。



第2日目は、精神科医・心療内科医でもある桑山紀彦さんの、映像と演奏による講演「地球のステージ」～UNESCO憲章を踏まえて世界へのメッセージ～がありました。映像と演奏する桑山先生の信念や行動力に基づいたメッセージを、今後、私たちもより多くの人に伝えていければと思いました。

そのほかパネルディスカッション「ESD・地球の平和を守ろう」、「民間ユネスコ運動70年ビジョンの発表」や70周年記念演奏としてUNESCO平和芸術家・二村英仁さんのヴァイオリン演奏がありました。

今大会では、学び・行動する民間ユネスコ運動として、平和の心を次世代に伝え、世界平和につながることを共有し幕を閉じました。私たちも、学校・教育関係団体・市民とともに取り込んでいきましょう。



さて、民間ユネスコ運動70周年に示された「ビジョン・ミッションと重点目標」は、次のとおりでした。

- ◆ビジョン(指針と展望) … Peace for Tomorrow 広げよう平和の心
- ◆ミッション(使命と責務)… ①平和な世界の構築 ②持続可能な社会の推進
- ◆重点目標 … ①平和な社会の実現(ユネスコ理念の普及 / 活動の担い手の拡大 / 支援者の拡充)
②ESD(持続可能な開発のための教育)の推進(次世代の育成・支援 / ESDの普及)
③「誰も置き去りにしない」社会造り(ノンフォーマル教育支援 / 平和構築への学びの支援)
④生き生きした地域社会の構築(未来遺産運動や世界遺産の保全・普及 / 減災教育)
⑤自然災害発生後の教育支援(被災地の子ども教育支援 / 教育復興支援)

次回の大会は、会場を函館(北海道)に移し、7月7日・8日に開かれます。

＜文責:塩井君子＞

「民間ユネスコ運動の日」街頭行事 実施報告（7月19日）



（公益社団法人）日本ユネスコ協会では、毎年7月19日を「民間ユネスコ運動の日」とし、全国一斉に創意工夫を凝らしたさまざまな活動を通して市民の皆さんに語りかけ、ユネスコ活動に対する理解者が増えていくようにと努力を行っています。

芦屋ユネスコ協会もこれに呼応し、梅雨明けの7月19

日（水）、芦屋ラポルテ前のペディストリアンデッキ・ＪＲ芦屋駅南口及びＪＲ芦屋駅北口周辺の３カ所で、山田会長はじめユネスコ会員 20 数名が 650 枚ほどのチラシを配布いたしました。

配布したのは、「平和の鐘を鳴らそう！」行事（8月15日）へのご案内と、「ユネスコとは…」と題する活動の概要を市民の皆様へお知らせする２種類のチラシとティッシュです。

チラシを受け取ってくださったかたの中には、すぐに目を通されるかた、何を配布しているのか怪訝に思いながら受け取られるかたなどいろいろでしたが、ユネスコ精神が多くの人々、特に学生さんや若い人たちに、民間ユネスコ運動の意義を理解していただくためのきっかけになる行事だと思っています。

私たちの活動がこれからの未来につながり、その礎になることを願っています。



お暑い中、ご参加いただいた会員の皆さんに、心より感謝申し上げます。

なお、芦屋警察署をはじめ、市道路課・市教育委員会のご支援と、ＪＲ芦屋駅のご協力に感謝します。

（文責：藤井 祐子）





次代へつなごう「芦屋の未来遺産」 ～芦屋文化の 100 年リレー⑪～

■ 100 年後の子どもたちへ残したい「芦屋の未来遺産 100 選」を選定

平成 29 年 5 月 23 日に開催された「芦屋の未来遺産運動推進委員会」で、芦屋市制 77 周年また芦屋ユネスコ協会創立 70 周年を記念して、「芦屋の未来遺産 100 選」を選定しました。

これは、昨年秋に開催した同委員会で企画、先に公開している冊子『みんなで選んだ芦屋の未来遺産～芦屋文化の 100 年リレー～』（2010 年発行）の中から、委員に選考を依頼、その回答を整理したものです。



芦屋公園のクロマツ林



芦屋川

私たちの住む芦屋市は、自然遺産・史跡と文化財、民話や歌物語、郷土資料や芸術文化、ライフスタイルを含め、人口も 10 万人に満たない小さなまちですが、日本でも有数の、未来へ伝えるべき多くの遺産を抱える宝石のようなまちです。

この 100 選リストは、「自然遺産」「歴史遺産」「文化遺産」「景観遺産」「その他の遺産」に分類、100 年後の子どもたちへ『芦屋の遺産』をつないでいけるよう、選定しました。

このリストには個人所有の建物もあり、公開されていないものもありますが、未来へぜひ残していただきたいとの思いでリストに含めさせていただきました。

今回は、そのうちの「自然遺産」「歴史遺産」についてご紹介します。
※次回は、「文化遺産」「景観遺産」「その他の遺産」についてご紹介する予定です。



業平の歌碑

※芦屋ユネスコ協会のホームページにも、未来遺産 100 選の「一覧」を掲載しています。



芦屋神社内 古墳

〈文責:南 ゆう子〉

芦屋の自然遺産		芦屋の歴史遺産	
1	芦屋川の源流とブナ自生地 ＜後鉢巻山 898.6 mの手前、石宝殿白山宮の祠を下った辺り＞	26	朝日ヶ丘縄文遺跡・屋外模型(朝日ヶ丘集会所隣接) ＜昭和 39 年発見。縄文時代前期の遺跡。集会所内部にも展示＞
2	芦屋川の清流（上流～下流） ＜カワセミ・アユ・アマゴ・蛍の見られる風景＞	27	芦屋廃寺(塩通寺法恩寺)の史跡(西山町に石碑) ＜白鳳時代の瓦・「行基の松」石碑・【県指定文化財】塔心礎(美博蔵)＞
3	芦屋川河口・三角州 ＜急峻な芦屋川がつくった砂浜。潮干狩り、海鳥も遊ぶ＞	28	芦屋神社境内古墳【市指定遺跡】(東芦屋町) ＜古墳時代後期～飛鳥時代の円墳。弁天岩の水神社移設＞
4	芦屋公園・市木クロマツの松林(浜芦屋町・松浜町) ＜白砂青松の芦屋浜・打出浜の昔が偲ばれる＞	29	阿保親王塚古墳(翠ヶ丘町) ＜4世紀後半【市指定文化財】内向花文鏡・三角縁神獣鏡(美博蔵)＞
5	芦屋浜(臨港線以南)・潮芦屋ビーチ(南浜町地先) ＜地曳網漁や海水浴場で知られた。潮芦屋ビーチに面影を残す＞	30	芦屋市内の全文化財 ＜【市指定文化財】旧三条村共有文書・四季耕作図屏風・山論裁許状ほか＞
6	芦屋神社の森・山手緑地庭園(東芦屋町) ＜コバノミツバツツジ。北隣の緑地には旧藤井邸を一部移築＞	31	芦屋市内の全遺跡・史跡・古墳 ＜打出小槌古墳・前田遺跡・三条岡山遺跡・呉川遺跡など 150 カ所＞
7	芦屋霊園(公園墓地)からの眺望(朝日ヶ丘町・剣谷) ＜市街を一望。桜の名所・市花コバノミツバツツジも群生＞	32	岩園天神社と山岳信仰(岩園町) ＜境内に6世紀頃の古墳や役行者(えんのぎょうじゃ)の碑がある＞
8	阿保親王塚の森(翠ヶ丘町) ＜宮内庁管理地。平城天皇の皇子・阿保親王の廟との伝承＞	33	打出天神社(打出小槌町) ＜江戸時代地誌に「産土(うぶすな)神」とある＞
9	荒地山からの眺望 ＜城山の尾根続きの岩場。民話「七衛門ぐらのたた子」の舞台＞	34	会下山遺跡【国指定史跡】・復元高床倉庫 ＜弥生時代の高地性集落跡。【市指定文化財】青銅製漢式三翼鏃＞
10	岩ヶ平公園の四季(岩園町) ＜桜の名所、姉妹都市提携を記念した「モンテペロばら園」など＞	35	奥池 水神社の石祠・石碑(奥池南町) ＜天保 12 年、猿丸安時が 20 余年を要して奥池築造。水神社建立＞
11	岩園天神社の森(岩園町) ＜常緑広葉樹の極相林に覆われた中に、6世紀頃の古墳がある＞	36	猿丸安時翁頌徳碑(東芦屋町・開森橋東詰) ＜艱難辛苦の末、村の治水のために奥池を開削した安時を顕彰＞
12	奥池一周囲の自然環境(奥池南町) ＜散策道には、広葉樹や水辺の植物多数。野鳥や昆虫の宝庫＞	37	金津山古墳(打出小槌町) ＜阿保親王が飢饉に備え黄金を埋めた埋蔵伝説。埴輪ほか出土＞
13	奥池一イモリ池(奥池南町) ＜氷河期のサギスゲ・ハッチョウトンボなどが見られる＞	38	旧西国街道跡 ＜かつての浜街道(春日町)には、石仏・道標・地藏尊が置かれていた＞
14	奥山貯水池周辺の自然(奥池南町) ＜自然の中に美しい住宅地が広がっている＞	39	猿丸君彰功碑(浜芦屋町・芦屋公園内) ＜近代化へと導いた精道村長の顕彰。安時の孫・又左衛門安明＞
15	高座の滝・周辺の自然 ＜昔の修験道の痕跡や小堂がある。ロックガーデンの入口＞	40	三条八幡神社(三条町) ＜刻限石・尼崎領界石、皇紀二千六百年・六甲クロガネモチの石碑＞
16	ごろごろ岳(国有林) ＜標高 565.6 m。38 年間気象観測を続けた「人間灯台」跡＞	41	親王寺(打出町) ＜阿保親王関係文献・【市指定文化財】堂ノ上出土銅鐸ほか 所蔵＞
17	桜の名所一市内の公園やさくら通り ＜宮塚・津知・芦屋中央公園／川西さくら通り・茶屋之町駅前線＞	42	水車谷石臼(山芦屋町) ＜開森橋上流。「金兵衛車・焼け車」伝説の地。民家の石垣に石臼＞
18	市花・コバノミツバツツジの美しい芦屋の背山 ＜城山・芦屋霊園・芦屋神社・六麓荘里山公園・芦有道路など＞	43	大楠公戦跡碑(楠町) ＜昭和 11 年建立。楠木正成と足利尊氏が戦った中世の古戦場＞
19	城山(鷹尾山)からの眺望 ＜大阪湾を一望。戦国時代の古戦場跡。「松若物語」の舞台＞	44	伝 猿丸太夫墓【市指定文化財】(東芦屋町) ＜芦屋神社の一隅に、百人一首で有名な伝猿丸太夫之石塔も＞
20	仲ノ池緑地公園の樹木・水辺の植物・生物(岩園町) ＜江戸時代のため池を公園として整備。街の中にあるオアシス＞	45	徳川大坂城東六甲採石場・出土刻印石【市指定文化財】 ＜岩ヶ平・奥山・城山刻印群に割石多数。海辺付近にも散在＞
21	東おたふく山(花原)の地形と四季の植物 ＜コバノミツバツツジの群生やハイキングコースで知られる＞	46	ナウマン象臼歯化石出土地(芦有ゲート 北側) ＜昭和 36 年、芦有道路建設中に発見。3～10 万年前の化石(美博蔵)＞
22	岩園緑地・六麓荘西緑地などの保護樹林 ＜八十塚バス停の南に広がる山林。樹林内に古墳＞	47	日吉神社内石祠(津知町) ＜祠の屋根に芦屋最古の金石文“永正 17 年(1520 年)”の銘＞
23	宮川河口の自然 ＜飛来する水鳥、遡上するイナ・ボラの群れ＞	48	弁天岩・フカ切り岩 ＜古来からの雨乞いの神事を行った伝承の地＞
24	ロックガーデン・風吹岩 ＜変化に富んだ岩登りの練習場＞	49	薬師堂(東芦屋町) ＜本尊・薬師如来は安楽寺(西山町)、お堂は東芦屋町へ移設＞
25	芦有道路・展望台からの眺望 ＜眼下に奥池・奥山貯水池、また仁川や西宮市街も一望＞	50	八十塚古墳群 ＜【市指定文化財】双龍環頭太刀が出土＞

平和の鐘を鳴らそう！

★参加費・申し込みは不要です。ご自由にご参加ください。

◆とき 2017年 8月 15日(火)

- ・第1部…午前11時45分～正午
- ・第2部…午後0時15分～2時

◆ところ

- ・第1部…市民センター・本館玄関前
- ・第2部…リードあしや 会議室C・D



市民センター本館・玄関横に設置されている
「優愛の鐘」(寄贈：芦屋市婦人会)

第1部

戦後72年目の夏を迎えます。

今年も8月15日(火)の午前11時45分に、芦屋市民センター本館の玄関前にご集合ください。

みんなで「平和宣言」を唱和し、正午のサイレンに合わせて黙祷いたしましょう。そして、「平和への祈りと願い」を込めて、今年も平和の鐘(優愛の鐘)を鳴らしましょう！

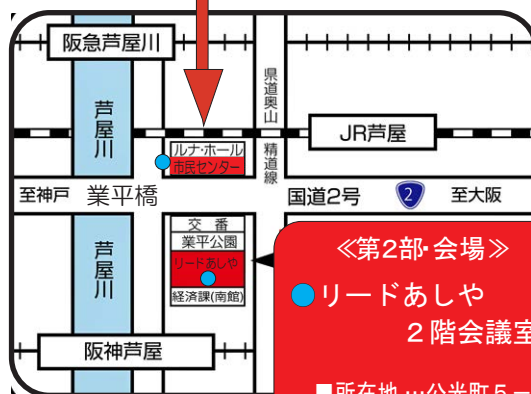
第2部

“ふかし芋”や“にぎり飯”などの模擬戦時食を一緒に食べながら、戦中・戦後のつらかった時代をしのび、平和の大切さを語り合っ

て、「平和への祈りと願い」を世界に向けて、芦屋から発信しましょう。

《第1部・会場のご案内》

- 芦屋市民センター玄関前
- 所在地…業平町8-24



《第2部・会場》

- リードあしや 2階会議室
- 所在地…公光町5-8
<公光分庁舎>

新入会員 紹介

ご入会、心より歓迎いたします。

★加藤 高子 様

★立花 真琴 様

★西田 三千子 様

編集後記



市花 コバノミツバツツジ

70周年を迎えた今年の芦屋ユネスコ協会は、4月の世界遺産・地域遺産見学バスツアーを皮切りに、「芦屋の未来遺産100選」の選定、理事会や「総会&会員交流会」開催、日本ユネスコ協議会の評議員会・近畿ブロックや阪神間ユ協への連絡会や総会への出席、「全国大会 in 仙台」への参加、「民間ユネスコの日」街頭キャンペーンなどなど…、本当に目のまわる忙しさでした。

これからも、「平和の鐘を鳴らそう」行事、阪神間合同事業への参加や近畿ユネスコ活動研究会、また理事会の開催や「年末講演会&親睦会」の準備などが続きます。今年の夏は、例年にない酷暑とか。会員の皆さんが無事にこの夏を乗り切られますよう、心からお祈りしたい今日このごろです。 <南 ゆう子 記>